《研究課題名》

滋賀医科大学における根治的膀胱全摘除術の治療成績

《研究対象者》

滋賀医科大学医学部附属病院泌尿器科において、1979 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までに膀胱全摘術を受けた方

研究協力のお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方のカルテ情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただかず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究期間》　滋賀医科大学学長許可日～2028 年 3 月 31 日

《研究責任者》　滋賀医科大学　泌尿器科学講座　影山進

（２）研究の意義、目的について

《意義》

膀胱全摘術は手術手技や周術期補助治療が時代の変遷とともに多様な変化を遂げています。当科症例を振り返ることで治療時期による成績の向上は真に見られるのかどうかを検証することが可能であり、その結果を社会に公開・還元することは重要な意義を持つと考えます。

《目的》

滋賀医科大学医学部附属病院での診療録を用いて、膀胱全摘術を行われた方の術前評価・術後の治療効果に関して解析を行います。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

本研究は滋賀医科大学医学部附属病院で膀胱全摘術を行った方を対象に、その術前の状態や前後の経過やその結果などを評価します。

《利用し、又は提供する情報の項目》

診療録をもとに手術日、手術時年齢、性別、Performance Status（ECOG 分類）、併存疾患、手術時の体格（身長、体重、BMI）、手術方法（開腹、腹腔鏡、ロボット支援）、手術内容、成績、合併切、対処

©Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee.

および転帰、術後再発関連の情報、予後情報等を利用します。

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学　学長　遠山　育夫

（４）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないよう、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学　泌尿器科学講座　影山　進
住所：520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町
電話番号： 077-548-2273
メールアドレス： hquro@belle.shiga-med.ac.jp

©Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee.